

浜松市議会議員



田口 章 後援会  
だより

お気軽にどうぞ  
昼 053 - 447 - 3820  
夜 053 - 440 - 7100

平成 20 年 6 月 1 日

創ろう！元気な浜松

2 年目の活躍の場は・・・

## 建設委員会(常任)と 行財政改革推進特別委員会

### ～ 浜松市議会 5 月定例会より ～

5 月定例会初日の 2 2 日、平成 2 0 年度の議会人事が決定しました。

まず議長には、創造浜松の内田幸博氏(59 歳・4 期目・南区)、副議長には自由民主党浜松の長山芳正氏(68 歳・2 期目・北区)が選出されました。

続いて「常任委員会」と「特別委員会」の正副委員長が承認されましたが、これらの人事異動(?)に伴って、委員にも若干の変更がありました。

委員の任期は、委員会規則では、原則 2 年ということですが、私自身も新たな委員会で活動することになりました。

各委員会の特徴は裏面のとおりです。

「常任委員会」は市役所組織の業務に対応し、「特別委員会」はタイムリーな市政課題について設置されるものです。

昨年度、常任委員会は「環境経済委員会」に、特別委員会は「大都市制度調査特別委員会」に属していました。「環境経済委員会」では、「環境問題」の他に「企業誘致」や「中心市街地活性化」そして「観光産業」など、「元気な浜松づくり」のための幅広い議論に参画することができました。また予算審議ではひととおりの施策について学んできました。

直近の課題では「フォルテ」の売却問題があります。委員会議論は同じ会派の先輩議員にゆだねることになりますが、14 億円の債権放棄を行う合理的説明は引き続き求めていきます。

「大都市制度調査特別委員会」では、さまざまな政策提言について学びました。勉強になったのは「地方交付税制度」に関する勉強会でした。税財源の知識はまだ不足していますが引き続き勉強していきます。

さて、委員会を変わる理由について、まず「建設委員会」ですが、これまで 1 年間やってきて、土地政策をはじめ「建設委員会」の所管業務は、私がもっとも不得手な分野であることからです。

そして「行財政改革推進特別委員会」は、実は、昨年度もやりたかったのですが、私の所属会派から副委員長を出すことになり、私ではムリなことから、先輩議員にやってもらったという経緯があります。

今年度は行財政改革の推進に力を尽くしたいと思います。



# 浜松市議会の“委員会”一覧

常任委員会	所轄部門
総務	総務部、企画部、財務部、会計課、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員、他の常任委員会に属さないもの
厚生保健	社会福祉部、こども家庭部、健康医療部
環境経済	環境部、商工部、農林水産部、農業委員会
建設	都市計画部、公園緑地部、土木部、建築住宅部、上下水道部
文教消防	生活文化部、教育委員会、消防
特別委員会	設置目的
大都市制度調査	1. 大都市の行政実態に対応した制度の調査研究 2. 地方分権の推進に関する調査研究
地域活性化	1. 中心市街地活性化の推進 2. 企業誘致等に関する調査研究
河川・道路・森林整備促進	1. 主要河川の整備促進、2. 長大橋の建設促進、3. 高規格道路等の整備促進、4. 遠州鉄道高架事業の推進、5. 森林林業に関する調査研究、6. 遠州灘海岸の侵食問題に関する調査研究
行財政改革推進	1. 行財政改革の推進

## 5月定例会トピックス

### 1. 議員発議による条例案を上程(?)

5月議会の目玉は「議員発議による条例提案」ではないでしょうか。

今回、最大会派(自民党浜松)から提案された条例案は、「浜松市市政に係る重要な計画の議決等に関する条例(案)」という名称です。内容は「これまで“議決項目”になっていなかった市の“基本計画”を審議事項にし、その他重要な計画の報告を義務付ける」というものです。

議会の“議決事項”は、地方自治法で決められています。議会独自に条例で定めることもできます。今回のような取り組みは、すでにいくつかの自治体では進められています。

浜松市議会では、これまでも重要計画の議会報告は行われていましたので、この点については、大きな変

化ではありませんが、基本計画への議会の関与は、議会の活性化のためにも良いことだと思います。

同時に議員の資質も試されることになると思います。金科玉条のごとく、一度決めたことにこだわる議員や、時代の変化や状況に応じて適切な判断ができる議員が、議論の中で明らかになるのではないのでしょうか。

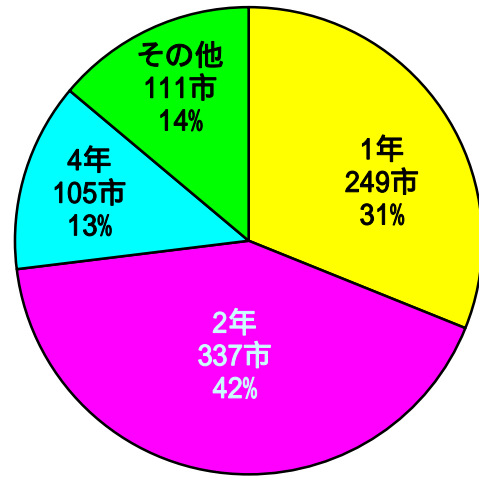
この議案の取り扱いは、6月2日の議会運営委員会にて審議されます。提案～可決となれば、浜松市議会にとっては大きな一歩だと思います。

私自身は、まだ、知識も経験も十分ではありませんが、今後、市民の目線で「政策条例(具体的な施策にかかわる条例)」の提案ができるよう、さらに調査研究をしていきたいと思っています。

## 2. 議長・副議長選挙に思う

【申し合わせ、慣例による議長の任期】

5月定例会初日の5月22日、酒井基寿議長(自由民主党浜松)が“辞任”し、選挙の結果、内田幸博新議長(創造浜松)が誕生しました。その後、高林龍治副議長(創造浜松)が“辞任”、長山芳正新副議長(自由民主党浜松)が選出されました。



出典 全国市議会議長会 HP(H18.12.31)

ちなみに議長選挙の投票数は・・・

内田幸博(創造浜松) 32票  
鈴木育男(改革はままつ) 9票  
丸井通晴(市民クラブ) 6票  
北島定(共産党) 4票  
小沢明美(社民党) 3票 でした。

自民(16) + 創造(12) + 公明党(4) = 32人という、わかりやすい足し算の結果ですが、まさに「数の力」ですね。

それはさておき、議長・副議長が1年間で代わるということについて、みなさんはどう思われますか？

地方自治法103条2項には、「議長及び副議長の任期は、議員の任期による」と書かれています。したがって議長の任期は原則4年ということです。内田議長の任期はあと3年ということです。

では現実はどうかと言うことですが、「全国市議会議長会」によりますと、802市中691市(86.2%)で「申し合わせ」をしています(H18.12.31)。

浜松市も「申し合わせ」により任期を1年間としています。なぜこうなっているのかについて、過去の経緯はわかりませんが、だいたい予想はつきますよね・・・。

市議会議長会のデータによると、任期1年の市は249市で、全体の31%。任期2年が337市で42%。法律どおり4年も105市(13%)となっています。

「1年任期が当たり前」と思っている人も多いのではないかと思います。すでに世間の常識からははずれており、一般的ではないということは明らかです。

これまでやってきたことを、同じようにやっていけばよい時代なら、今までどおりのやり方でもイイのでしょうか、時代の変化や自治体を取りまく環境の変化、そして今後の議会のあるべき姿や役割を考えたときに、このままでよいのかと思います。

「古いモノを見たければ、“博物館”か“議会”に行け」と皮肉を言われるくらいです。

「行財政改革」同様、「議会改革」が必要です。

コラム(ちょっとひと息)

あぁ勘違い・・・^^;

常任委員会が「建設委員会」に決まり、心機一転、新たに勉強を始めようと思い、先日の“監査報告”で指摘のあった「浜松市建設公社」の財務内容を調べていました。監査委員の指摘は「H18年度の決算報告数値が、全体としては合っているが、一部科目の内容が不適正」というもので、事実とすれば大きな問題です。

委員会前に一度ヒアリングをしておかねば・・・と思い、連絡を取ろうとして、「ハテ、所管部門はどこだっけ?」と、議会事務局に聞いてみました。

すると・・・、「田口さん、建設公社は建設委員会ではなく、総務委員会なんですよ・・・」。所管部門は、財務部財政課だとのこと。ちなみに「土地開発公社」は、財務部管財課だそうです。知らなかった・・・。

# 最近のブログから ふるさとを創る(5/24)

今日は入野地区社協の講演会がありました。タイトルは「食の安全と有機農業」。講師は新城市にお住まいの松沢政満さんでした。松沢さんは23年前から「有機農業」に取り組んでいらっしゃいます。松沢さんのお名前をネットで検索するとたくさん記事が出てきましたので、この世界では有名な方ようです。体験学習に訪れる人も多いようでしたが、約1時間半、楽しくお話を聞かせていただきました。

松沢さんは、「近代化農業」と比較して「有機農業」の特徴を述べられました。私は農政は得意ではありませんが、昨年1年間、委員会審議に加わり、幾つかの疑問を感じてきました。

これまで巨額の補助金を投入し、大規模開発を進めてきた田畑が、今は休耕地となり荒れ果てています。そしてその開発費用の借金をいまだに返済し続けている・・・。

食糧自給率が40%を切り、環境やエネルギーの視点から「フードマイレージ」が指摘されています。加えて「食の安全」も声高に叫ばれている中、地産地消をはじめ、食のあり方をみんなで考える必要があると思います。

また、農業を農政サイドからだけでなく、消費者側からも見る必要がある。そして行政施策にも「選択と集中」が必要・・・。そんなことを感じました。

この続きはブログをご覧ください [http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2008/05/524\\_b198.html](http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2008/05/524_b198.html)

最新の記事はコチラ **創ろう！元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】**

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

## 5月の活動報告

- 02(金) モザイクカルチャーディスプレイ除幕式  
入野地区組団結式
- 03(土)～05(月) 浜松まつり
- 08(木) 入野地区自治会連合会総会
- 09(金) 入野町本所自治会評議員会
- 12(月) 環境経済委員会  
スズキ協力協同組合総会
- 13(火) 多文化共生市内ヒアリング調査
- 14(水) 堀留川を考える住民会議
- 15(木) 全員協議会
- 17(土) 行革審傍聴  
入野地域団体連絡会
- 18(日) 入野地区ふれあい昼食会
- 20(火) 入野公民館運営委員会
- 21(水) 活動報告会(彦尾老人ク)  
連合浜松意見交換会
- 22(木) 全員協議会・本会議  
研修会(法令実務講座)
- 23(金) 研修会(法令実務講座)
- 24(土) 8区議員団会議  
入野地区社協講演会
- 25(日) 講演「日本の政治経済を考える」
- 26(月) 「コンプライアンス条例」に関する  
調査(神戸市・大阪市)
- 27(火) 運動会(大平台小)  
活動報告会(スズキ大須賀)
- 28(水) ムンド・デ・アレグリア訪問  
教職員組合地域ネットワーク集会
- 30(金) 自動車総連政策打ち合わせ

## 6月の主な予定

- 01(日) 運動会(入野小・西都台小)  
入野地区老連総会  
事業仕分け傍聴
- 02(月) 議会運営委員会傍聴
- 03(火) 全員協議会・本会議
- 04(水) 本会議
- 05(木) 本会議  
行財政改革推進特別委員会
- 06(金) 建設委員会
- 07(土) 入野中学校区青少年健全育成会総会  
ビーチフットボール東海大会  
([http://www.geocities.jp/beachfoot\\_tokai/](http://www.geocities.jp/beachfoot_tokai/))  
入野地区夏まつり実行委員会
- 08(日) 入子連球技大会  
社協ふれあいウォーキング  
アツミテック労組 レクイベント  
日産労連 部労東海 レクイベント  
浜松市水防演習
- 09(月) 至誠会(新人議員の会)
- 10(火) 入野中学校ふれあい体験  
(浜松市男女共同参画推進支援事業)
- 11(水) 意見交換会(本田技研労組)
- 12(木) 全員協議会・本会議(最終日)
- 14(土) 行革審傍聴  
堀留川を考える住民会議公開勉強会
- 15(日) スズキ高塚 レクイベント
- 16(月) 堀留川を考える住民会議
- 19(木) 若手議員の会
- 21(土) えんばい朝市  
スズキ労連 ヤングリーダー研修会
- 24(火) 後援会打ち合わせ
- 25(水) 都市計画審議会

【田口 章 プロフィール】

昭和37年1月23日生(46歳)

好きな言葉

- ・おもしろきこともなき世を  
おもしろく
- ・今より早いときはない
- 趣味
- ・オートバイ
- ・歌を歌うこと
- ・カレーづくり

【連絡先】

事務所(スズキ労働組合)

〒432-8062

浜松市南区増楽町 20

TEL053-447-3820

会派(浜松市議会市民クラブ)

〒430-8652

浜松市中区元城町 103-2

TEL053-457-2496

【編集後記】

活動報告と6月の予定を書きながら、ちょっとつめ込みすぎたかな・・・と、思っています。

この他にも、仕事関係では、さまざまな研究テーマについてのヒアリングがあり、プライベートではPTA活動が入っています。

日々は充実しているのですが、果たして「アウトカムはどうか？」と聞かれると、ちょっと恥ずかしいような気もします。

6月後半からは、議会報告を兼ねて、みなさんのところへお声がけいして、市政に関するご意見やご要望を聞きにいらおうと思いますので、よろしくお願ひします。(章)